

毛糸大歓迎!

女性たち手作りのベストや靴下が大変好評です。余り毛糸がありましたらお譲りください。よろしくお願ひします。

朗読ボランティア「ろうどくはあもに」に音声を依頼したのは、第22号からであります(12号、21号は会員による朗読)。テープは、美しい音楽と気候の挨拶から始まり、時には新聞の記事や小説の一節、エッセイ等もありました。現在はデジタル化も進み、CDで聞いていただく事ができます。ボランティアさん、ありがとうございます。



◆ ゆうあい録音 ◆

留守の方は2名のみでした。短い会話の中で皆さんのお元気な様子と笑顔を見出れて、とてもよかったです。日頃の苦労話も伺い、今後もお話する機会をより多く持ち、つながりの大切さと支え合いの必要性を強く感じました。



◆ お元気伺い ◆

あまりお姿を見せることがない会員さん宅に、お元気を確認するため役員が訪問しました。12名の方のお宅訪問でした。ちよつとした手土産を持って伺いましたが、お



<平成15年1月新年会>



<平成19年9月 ふれあい交流会>



<平成20年8月 海の集い>



<平成21年9月県スポーツ大会>



<平成22年3月 ボウリングの集い>



<平成24年7月 ふれあいサロン>

編集後記:

ゆうあい創刊号から現在までの綴り込みを拝見して、改めて先輩たちの情熱と見識の深さに感心致します。紙面を通して、会の歩みが手に取るように分かり、懐かしく振り返ることができました。各号の主な内容、写真など紙面が許される範囲で一部ご紹介できました。第13号～第15号までが保存されておられません。どなたかお持ちの方は、お声をかけて下さるようお願いいたします。(木嶋)

過去の編集後記から 引用

<第27号：編集後記から>

ゆうあい第27号をお届けします。今年は何年か新年、・・・テレビで西暦2000年の刻の訪れを見て・・・世紀を越えて生きたというある感慨を持たれた方も多い!?そして介護元年・・・わが町でも何かが始まる? 障害者の歩みは遅々としていてもやはり前に進みたい。手をつないで!!そう、あの乙武さんのように!! ご叱正ください。(新田)

<創刊号：編集後記から>

身障者だより第1号、どうか予定通り脱稿。大勢の方々のご協力の賜物と深く感謝します。日頃、我々身障者は社会から有形無形の支援を受けていますが、我々も受けるだけでなく、何か与えること(といえはちよつとオーバー?)は出来ないでしょうか。お互いが自信を持ち行動すること。これもそのひとつ? 季節は良し。外へ出て新緑の風を胸いっぱい吸い、似た者同士で手を握ろう。(新田)